



# 経済日誌 (12.1~12.31)

## 国内外

### 12.4◇日米貿易協定、承認

日米貿易協定が国会で承認され、2020年1月1日の発効が決まった。米国産農産品の関税を環太平洋経済連携協定（TPP）並みの水準に引き下げる。一方、日本からの輸出では工業品を中心に関税が下がるものの、焦点の自動車関連品目の関税撤廃は継続協議となった。

### 12.10◇セブン、残業代4.9億円未払い

セブン-イレブン・ジャパンは、フランチャイズ加盟店で働くアルバイトやパート従業員の残業手当の一部が未払いだったと発表した。記録が残っている2012年3月から19年11月末までの間では、対象は8,129店、3万405人で未払い額は遅延損害金を含めて4億9千万円に上る。

### 12.13◇米中関税、制裁緩和で合意

米中両政府は、貿易協議の「第1段階」の合意に達したと発表した。中国が米農産物を大量購入する代わりに、米国は15日に予定していた新たな制裁関税の発動を見送った。発動済みのうち1,200億ドル（約13兆円）分の税率も半減する。関税の縮小は制裁関税を始めた2018年7月以降初めて。

### 12.18◇かんぽ、不正疑い1万2,836件

日本郵政グループは、かんぽ生命保険の不適切契約の問題で、法令や社内規定に違反した疑いのある契約は、2018年までの5年間で1万2,836件に上ると発表した。9月の調査時から倍増した。また、約20万人の顧客が「意向に沿わない契約だった」と答えていることも明らかにした。

## 県内

### 12.7◇泉外旭川駅、着工

JR奥羽線の秋田駅－土崎駅間に新設する「泉外旭川駅(仮称)」の建設工事が始まった。総面積はホームと待合室、駅前広場など合わせて約7,000平方メートル。請願駅のため、総事業費約20億5千万円は市が全額負担する。1日当たりの利用者数は2,100人を見込む。

### 12.13◇台湾便、運航停止

秋田空港と台湾を結ぶ定期チャーター便を運航していた台湾の航空会社「遠東航空」は、経営難を理由に全便の運行を停止した。台湾便は2019年3月に就航したばかりだった。秋田を訪れる外国人観光客は台湾からが最も多く、観光への影響は避けられない見通しとなっている。

### 12.17◇開放型体育館、完成

JR秋田支社が秋田駅東口に建設していた開放型体育館「秋田ノーザンゲートスクエア」が完成した。同支社のバスケットボール部やB1秋田ノーザンハピネッツの練習拠点となる。駅周辺再開発の一環で、2020年3月にはスポーツ合宿所を併設した学生マンションが完成予定。

### 12.20◇にかほ本ずわい、初出荷

にかほ市産ズワイガニの新たなブランド「にかほ本ずわい」が初出荷された。県漁協南部支部と市が、集客や地域振興を目指して始めた取り組み。厳しい基準を設定してブランドを高める狙い。初日は8.5キロが競りに掛けられ、1キロ当たり最高1万3,500円で落札された。